

## [035]九州人類学会報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/2341042>

---

出版情報 : 九州人類学会報. 35, 2008-07-12. Kyushu Anthropological Association  
バージョン :  
権利関係 :

九州人類学会報

第 35 号

目次

論文 (特集—平成 19 年度「九人研オータムセミナー」より—)

山室 敦嗣 それでもそこで暮らし続けるためには  
——原子力施設立地地域における住民の生活技法——…………… 1

萩原 修子 「語り」を開く  
——水俣病事件における〈証言〉生成の現場から——…………… 13

研究ノート

永吉 守 市民に寄り添う活動家兼研究者  
——近代化産業遺産活用の事例より——…………… 30

(特別寄稿)

松永 和人 「二項対立のあらかじめ作られた図式」(prefabricated schema of binary opposition) ——アフリカ・ウガンダ Nyoro 族の文化に関する象徴的二元論についての Needham と Beattie の論争によせて——  
…………… 46

研究会活動報告…………… 68

『九州人類学会報』投稿規程…………… 71

編集後記 (九州人類学研究会会長 片多 順)